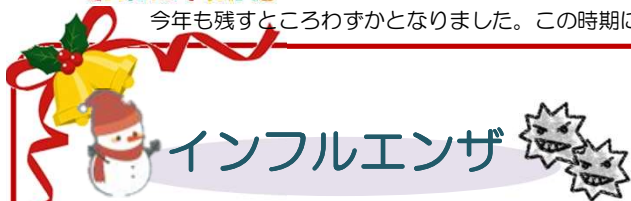




発行:そらいろこどもクリニック

今年も残すところわずかとなりました。この時期に気になる話題と言えば・・・今回はインフルエンザのお話です。



MERRY CHRISTMAS

インフルエンザ

主な症状

1～3日の潜伏期の後、38℃以上の発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛などの全身症状が突然現れます。下痢や嘔吐などの消化器症状やのどの痛み・鼻汁・咳などの呼吸器症状を伴うことが多いです。時に、熱性けいれんや高熱に伴う熱せん妄、異常行動もあり注意が必要です。

診断方法

綿棒で鼻汁をとってインフルエンザウイルスがいるかどうか調べます。10分程度で結果が出ますが、発症直後に検査した場合などはウイルスの量が少ないため、感染していても陰性になることがあります。

発症後12～24時間経過してからの受診をお勧めします。

登校・登園について

出席停止期間は、「**発症した後5日間を経過し、かつ解熱後2日間(幼児は3日間)を経過するまで**」と言われています。

インフルエンザ陽性の診断を受けた方には説明用紙をお渡ししていますので参照ください。

幼稚園・保育園など登園許可証が必要な場合は用紙を持ってきていただければ記入しますので、通っている園に確認してください。



感染予防

インフルエンザを発症する前日から発症後3～7日程度は感染力があると言われています。インフルエンザ患者の咳・くしゃみなどとともにウイルスが小さな飛沫(しぶき)となって空気中に飛び散りうつります。(飛沫はおよそ2m飛ぶと言われています。)



うつらないためには、人混みを避け、外出時にはマスクを着用し、帰ってきたらうがい・手洗いをしましょう。栄養と休息を十分にとり、室内の加湿と換気も大切です。



インフルエンザワクチンについて

インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスの感染やインフルエンザの発症そのものを完全に防ぐことはできません。重症化や合併症の発生を予防する効果は証明されており、重症化予防を主目的とするワクチンです。

副反応は主に「局所の発赤、腫れ、痛みなど」です。全身反応として、発熱、悪寒、疼痛、倦怠感、嘔吐・嘔気、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛などがありますが、通常2-3日中に消失します。



治療薬

内服

- ・タミフル (H3O.8/21～10代にも処方できるように。)
- ・ゾフルーザ (錠剤で10kg以上に処方。1回の内服で治療終了。)
- ・麻黄湯 (漢方薬)



吸入

- ・イナビル→1回吸入で終了
10歳未満は1回2吸入
10歳以上は1回4吸入



失敗しても再処方
はできません。

- ・リレンザ→1日2回吸入 5日間
年齢を問わず吸入量は同一



点滴

- ・ラビアクター→1回 (解熱しないときは翌日も投与する場合あり)

- ・診断後に医師と相談して決定します。
- ・薬を使用開始後に他の種類の抗インフルエンザ薬に切り替えることは保険の関係上認められていません。
- ・解熱剤はアセトアミノフェン(アピバ やカゲール)を使用しましょう。

発症後48時間以上経過してしまうと、ウイルスの増殖により薬の効果が十分に得られないと言われていますので、発症後48時間以内には受診し、治療を受けましょう。

自然経過では、1週間程度症状が持続します。

今月の絵本

こぶたのブルトン*ふゆはスキー* 作・中川ひろたか
絵・市居みか

雪の季節がとうとうやってきましたね。学校でもスキー学習が始まりますね。こぶたのブルトンのように薄着ではなく厚着で、冬のスポーツをケガなく楽しんでください。



クリニックの本棚にあるよ

おしらせ

インフルエンザワクチン接種は12月いっぱいでの終了の予定です。完全予約で行っておりますが、在庫に限りがあり、新たな予約はご希望に沿うことが難しい可能性があります。接種ご希望の方はお電話でご確認ください。なお、予約変更の際はお電話にて承ります。よろしくお願い致します。

今年1年ありがとうございました。また来年もよろしくお願いいたします。

